# 取扱説明書

# エンブレムポストTYPEF

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

## 建設会社・販売店・施工店・施主の皆様へ

本説明書を実際にご使用される方へお渡しください。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、製品の機能と使用方法をご理解 くださるよう、お願いいたします。

この説明書は、大切に保存いただき、長くお役立てください。

## ご使用になる方への安全上のご注意

ランプの交換やお手入れの際は、電源を切ってください。感電の恐れがあります。

点灯中や消灯直後のランプや器具は高温になっていますので、手をふれないでください。火傷の原因になります。

器具の改造、部品の変更は行わないでください。また、ランプは本書の p.5 の「7. 交換部品・消耗品について」に記載の指定型番の物をご使用ください。

煙・臭いなどの異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。感電・火災の原因になります。工事店、お買い上げの販売店、または弊社にご相談ください。 電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者がおこなって ください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

本体を揺すったり、ぶら下がったり、寄り掛かったりしないでください。 ポストの投入口にむやみに手や棒等を差し込まないでください。手をケガした り、ポストが破損したりする恐れがあります。

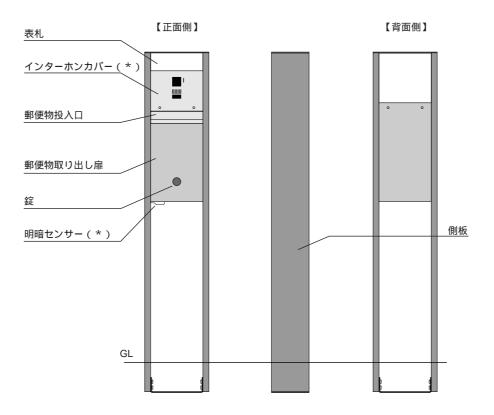
ダイヤル錠にぶら下がらないでください。ダイヤル錠や取出口スライド扉が破損する恐れがあります。

## 1 目次

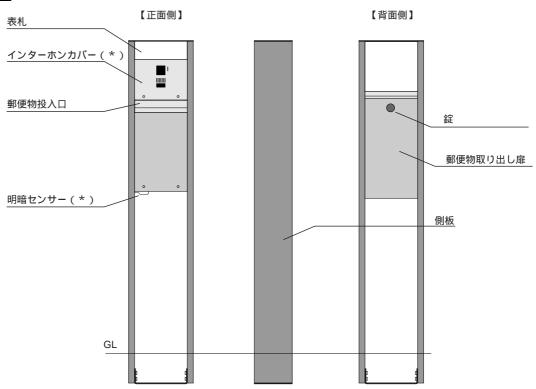
2. 各部の名称	•	•	•	•	•	•	•	•	2
3. 照明用電球の取付け・交換	•	•	•	•	•	•	•	•	3
4. 表札の取付け・交換	•	•	•	•	•	•	•	•	3
5. 郵便物取出し口									
5-1. 扉の開け閉めの方法	•	•	•	•	•	•	•	•	4
5-2. 施錠の方法	•	•	•	•	•	•	•	•	4
5-3. 開錠の方法	•	•	•	•	•	•	•	•	4
6. シリアルナンバーとダイヤル錠ナンバー	•	•	•	•	•	•	•	•	5
7. 交換部品・消耗品について	•	•	•	•	•	•	•	•	5
8. お手入れのお願い	•	•	•	•	•	•	•		5

## 2 各部の名称

#### 前出し型



#### 後出し型



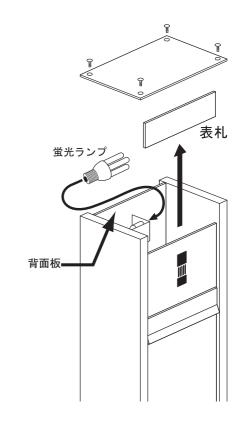
・名称に\*印のあるものはオプション 仕様です。

#### 3 照明用電球の取付け・交換

#### 注 意 !!

電球を交換する前に、必ずポストの元電源を切って下さい。

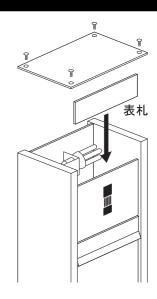
- ・天板の4つのネジを外して、天板を外してください。<u>この</u> とき、ネジと天板の間にあるシリコン樹脂製のワッシャを 無くなさいように注意してください。
- ・ポスト正面の表札板を上にスライドさせて外してください。(ポスト背面に余裕のある場合は、背面板を取り外しても作業が出来ます。)
- ・ポスト内部にソケットがありますので、ランプをねじ込ん でください。
- ・表札板を取り付けてください。背面板をとりはずして作業 した場合には、背面板のつや消し処理してある面が外側を 向くことに注意してください。
- ・再び天板を取り付けるとき、<u>必要以上に強くネジを締め付</u> けないでください。



## 4 表札の取付け・交換

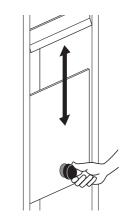
- ・前述の「電球の取付け・交換」の要領で天板を外してください。
- ・ポスト上面から表札プレートを差し込んでください。
- ・再び天板を取り付けるとき、<u>必要以上に強くネジを締め付</u> けないでください。

天板の止めネジは六角穴付きネジです。ネジの取り外しには、本体付属の六角レンチをご利用下さい。



#### 5-1. 扉の開け閉めの方法

- ・郵便物取り出し口は上下スライド式で開閉するようになっています。ダイヤル錠の部分を持って上下に開閉してください。
- ・前出しタイプの取り出し口を開けるには、ダイヤル錠の部分を持って<u>一旦上に押し上げてロック解除</u>した後、下にスライドさせてください。また、閉めるときは、扉を一番上までスライドさせた後、軽く力をいれてカチッと音がするまで押し上げてください。
- ・取り出し口を開くときには、必ず一番下まで手を添えて動かしてください。途中で手を離すと、取り出し口下のクッション材を傷めることがあります。



注意!!

解錠時にダイヤル錠は回転しません。無理矢理回転させるとダイヤル錠が 破損することがあります。

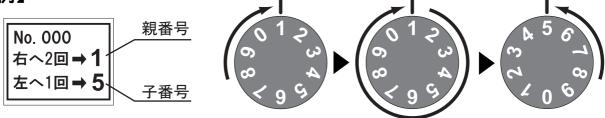
#### 5-2. 解錠の方法

- ・暗証番号シールの番号をみて、下記のようにダイヤルを回して ください。
- (1)ダイヤルを指定された方向に回して親番号に合わせます。
- (2)同じ方向にもう1回転させてもう一度親番号に合わせます。
- (3)次に逆方向に回して子番号にあわせます。

# 暗証番号シール 貼付場所 (暗証番号シールはここに

(暗証番号シールはここに 貼って保管して下さい。)

#### 【例】



右回しで「1」に合わせ、もう1回転右に回して「1」に合わせます。次に左回しで「5」に合わせます。

#### 5-3. 施錠の方法

・スライド扉を閉じた状態で、ダイヤル部分を扉側に押し込み。左右どちらかに1回転以上まわします。

注意!!

施錠時ダイヤルを一回転以上回転させないと、子番号をあわせただけで開 く場合があります。

## 6 シリアルナンバーとダイヤル錠ナンバー

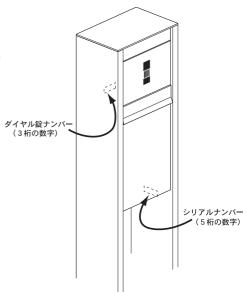
#### シリアルナンバー

- ・エンブレムポストTYPE F本体正面に向かって右側のサイドパネルの内側に、シリアルナンバーのシールを貼っています。
- ・ポストの修理を依頼される場合や、オプション品のご発注時に はこのシリアルナンバーが必要になります。シリアルナンバー は下記に御購入時にメモしておくことをおすすめします。

シリアルナンバー

#### ダイヤル錠ナンバー

- ・ダイヤル錠にはそれぞれ個別の番号が付いています。もし、暗証番号を紛失した場合には、ダイヤル錠ナンバーを確認して、ご購入いただきました建設会社、販売店、工務店にお問合いただければ、暗証番号をお調べいたします。
- ・ダイヤル錠ナンバーのシールは郵便物投入口内側の背面パネル右奥に貼り付けています。



### 7 交換部品・消耗品について

#### 照明用ランプ

・ホームセンター等で市販されている、下記の型式もしくは相当の電球型蛍光ランプ (40 ワット形 E17 口金 ) をご利用ください。

EFD10EL/9-E17 電球色 E17 口金 消費電力 9 ワット EFD10ED/9-E17 昼白色 E17 口金 消費電力 9 ワット

・蛍光ランプの取扱については、ランプに付属の説明をご参照ください。

#### その他の部品

・表札、郵便物取り出し口のゴムクッションなどの別売部品をご用意しております。ご入用の際には、 エンブレムポストをご購入いただいた建設会社・販売店・施工店等までお知らせください。

## 8 お手入れの方法

いつまでも良好にご使用いただくために、定期的なお手入れをお願い致します。

- ・本体は柔らかい布やスポンジを用い、ほこり、チリ等を水洗いした後。から拭きしてください。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤をぬるま湯で薄め、汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、 最後にから拭きしてください。
  - **注** 1)酸性洗剤、アルカリ性洗剤、シンナー、ベンジン等は腐食の原因になりますので、使用しないでください。
    - 2)金属ブラシ、紙ヤスリ、スチールウール等はアルミ表面を痛めるため使用しないでください。

# エンブレムポスト TYPE F

# 施工説明書

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

## 施工店様へのお願い

## はじめに

製品の施工につきましては、必ずこの説明書に従ってください。

本施工説明書および取扱い説明書は、施工後必ずお施主様へお渡しください。

この説明書は、大切に保管いただき、永くお役立てください。

製品の引き渡し時には、施主様に使用方法・使用上の注意・手入れの方法等の説明を十分に行ってください。また、郵便物取出し口の鍵(2個)を施主様へお渡しください。

## 同梱品の確認

梱包箱のなかにすべての部品、オプション品が納めてあります。

開梱後ただちに、外側上面に貼付のチェックリストと同梱品の照合を行ってください。 欠品がある場合は、チェックリスト記載の連絡先まで至急、お知らせください。

連絡先: ナカシマプロペラ (株) イオス開発グループ TEL086-279-5115

## **INDEX**

設置上のご注意	
施工上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
梱包内容一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
各部の寸法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 ~ 3
施工手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 ~ 10

## 設置上のご注意

設置場所に製品が収まるかを、施工前に必ず確認してください。

基礎位置および地中配線位置に、他の配管(水道・ガス)が埋込まれていないことを確認して下さい。 ガス給湯器等の排気が直接当たる所には設置しないでください。

本体には電装部品が組み込まれていますので、梱包を屋外に放置しないでください。

## 施工上のご注意

電気工事は、電気用品安全法に適合した部品と工事法に基づいた工事の 施工を、電気工事店様にご依頼ください。

商品の施工につきましては、必ず本説明書に従って施工してください。

製品の改造・変更は絶対にしないでください。

照明、インターホン等の電気工事および地中の配線工事は、必ず電気工事店にご依頼ください。その際、本商品の施工をされる方と十分打ち合わせの上で、工事を行ってください。

本体に電源スイッチはありません。必ず屋内にスイッチを用意してください。

設置場所の地下埋設物の有無を確認し、それらを破損しないように注意してください。

基礎はかならず基準どおりに工事してください。

施工時に、本体に物をぶつけたり、傷を付けたりしないように十分注意してください。

施工の際、本体塗装部分に粘着テープや養生テープをを貼り付けないでください。

モルタルやコンクリートの急結剤は、腐食の発生促進の作用がありますので使用を避けてください。 または塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウムの入っていないものを使用してください。 施工時に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに拭き取ってください。

施工完了後、ねじ類のゆるみ・脱落がないように再度点検してください。

施工完了後、照明・インターホン等の作動確認を必ず行い、不具合がないことを確認してください。

## 梱包内容一覧

#### 本体ならびに備品

名称	個数
TYPE F 本体	1
蛍光灯型電球	1
表札*	1
郵便物取出し口用鍵	2
施工説明書	1
取扱説明書	1
6角レンチ	1

#### 明暗センサー (オプション)

名称	個数
明暗センサー	1
取付金具	1

\*表札・明暗センサーはオプション仕様の場合や分譲用途の場合同梱されないことがあります。梱包箱に貼付されたチェックリストで確認してください。

#### 配管について

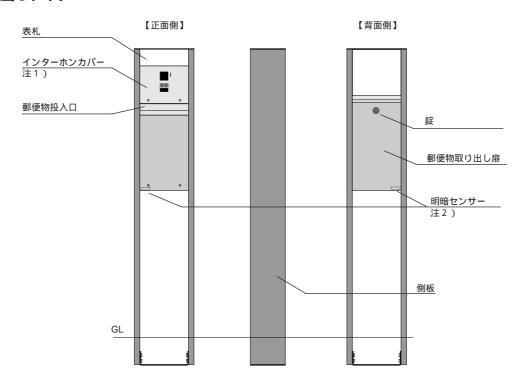
PF 管は付属していません。別途、現場で手配してください。

#### インターホン子機について

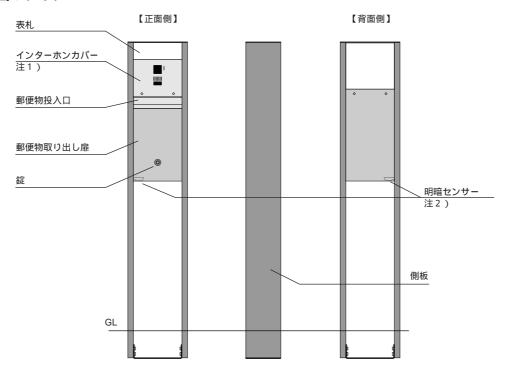
インターホン子機は付属していません。

## 各部の名称

#### 後出しタイプ



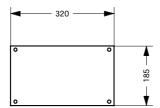
#### 前出しタイプ

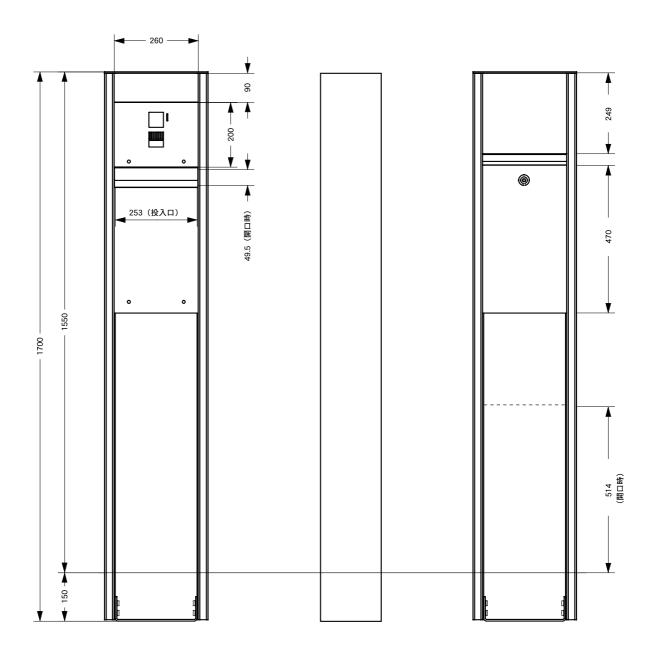


注1)標準仕様のインターホンカバーはスリット加工がありません。 注2)明暗センサーはオプション仕様です。

## 各部の寸法

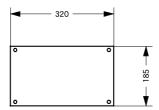
後出しタイプ

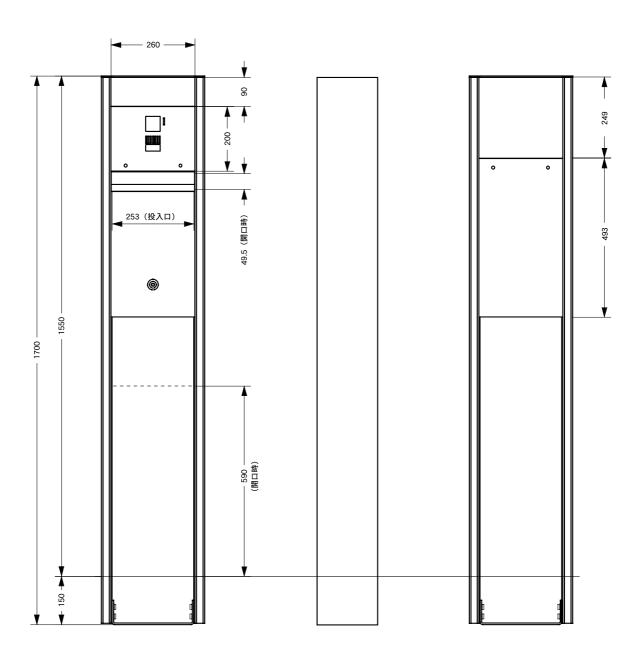




## 各部の寸法

## 前出しタイプ





## 施工手順

施工中も、本体保護シートを取らないでください。 本体塗装部に養生テープや粘着テープを貼り付けないでください。

#### 1 基礎工事

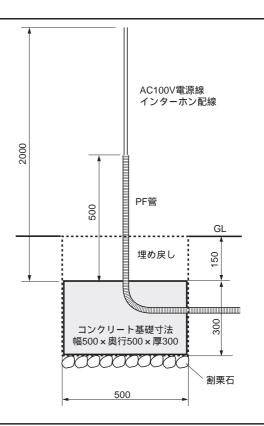
事前に地中配管用の基礎工事をされる方と十分打ち合 わせた上で、工事を行ってください。

#### 基礎コンクリートの寸法

右図の基礎寸法を参考に穴を掘り、コンクリートを打設 してください。その際、現場の状態に合わせて基礎の大 きさを考慮してください。

#### 電気配線

AC100V電源およびインターホン用の配線は、PF管を通して本体下部中央部から入るように、あらかじめ基礎に埋込んでください。PF管の長さは、本体下端より約500mm、電源ケーブルやインターホンケーブルは同じく、本体下端より約2000mm出るようにしてください。



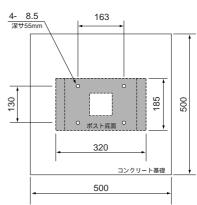
#### 2 本体の設置

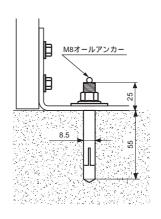
本体のアンカー固定位置を決めてください。 (\*このとき、中心付近に PF 管がくるようにしてください。)

アンカー用下穴 8.5 深サ 55mm をあけ、穴内の切粉 をエアーポンプなどで除去してください。

本体を設置する前に基礎に本体を仮置きし、本体底板の四角の開口部に PF 管を通しておいてください。

市販のM8オールアンカーを4本用意し、本体を固定してください。このとき、本体が垂直になるようにしてください。





#### 3 本体内の結線

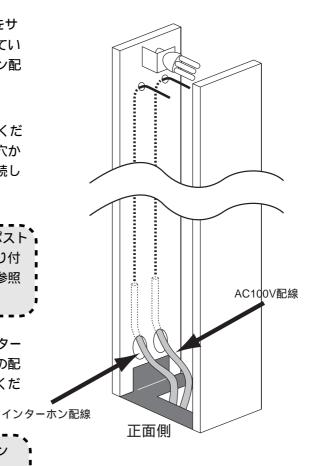
本体向かって左側のサイドパネルの下部に PF 管をサイドパネル内に取り込むための穴が 2 つ開けられています。それぞれ AC100V の電源線用とインターホン配線用の穴になっています。

AC100Vの電源線は、背面に近い方の穴に入れてください。サイドパネルの中を通して、ポスト上部の穴から取り出し、蛍光ランプのソケットのラインに接続してください。

「オプションの明暗センサー付きの場合は、直接ポスト上部に接続せず、ポスト中程で明暗センサーを取り付けます。詳しくは「4. 明暗センサーの取付」をご参照下さい。

インターホンを内蔵してご利用される場合(インターホンカバーはオプションです)は、インターホンの配線をサイドパネルの正面に近い側の穴に挿入してください。

インターホン子機の取付に付きましては、「5.インターホンカバー」を参照してください。



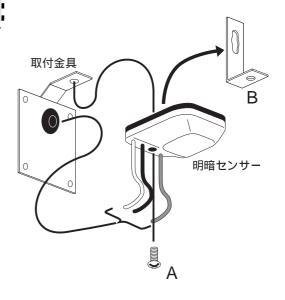
## 4 明暗センサーの取付

明暗センサーはオプション機能です。明暗センサー付する。 きでご発注頂いた場合のみ、ご利用いただけます。

明暗センサー本体には、最初 L 型金具(B) がネジ(A) で固定されています。ネジ(A) をゆるめて L 型金具を取り外してください。(取り外した金具は不要です。)

ゆるめたネジ(A)で明暗センサーを取付金具に固定します。

取付金具のグロメットの中心をカッターで切り、明暗センサーの3本の配線を通します。



明暗センサーは向かって左側のサイドパネルの郵便受け下側に取り付けます。

明暗センサーの取り付け箇所には、ネジ4本でフタが 取り付けられていますので、ネジをゆるめてフタをと りはずしてください。取り外したフタは不要です。

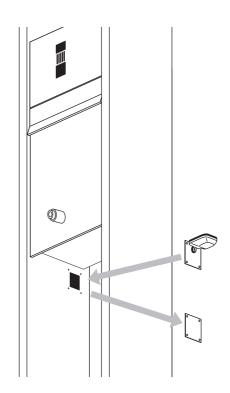
ポスト内部を、右図のように配線してください。配線接続部は圧着スリーブを使い確実に接続し、接続箇所を自己融着テープ、防水テープで絶縁・防水処理をおこなってください。

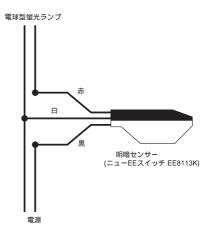
「明暗センサーから蛍光ランプまでの配線(Fケーブル」等)は、製品に含まれておりませんので、お客様の方でご用意ください。

図のように接続を完了すると、元のフタを固定してあった4本のネジで明暗センサーを固定してください。

明暗センサー施工後の動作確認については、明暗センサーの箱に記載されている方法に従って行ってくださ

明暗センサーの結線は、電気工事の有資格者が法令に 則っておこなってください。



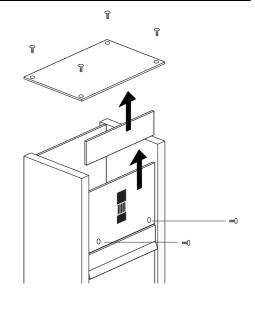


## 5 インターホンカバー

インターホン子機カバーはオプション品です。発注時 にインターホン子機カバーのオプションを指定してい ない場合には、インターホンの取付工事は不要です。

インターホンの信号線は、本書6ページの「本体内の 結線」をご参照の上、配線をすませておいてくださ い。

まず、 天板の4本のネジをゆるめて、天板と表札を取り外し、インターホンカバー前面の2本のネジをゆるめてインターホンカバーを取り外してください。



ここでは、インターホン子機とその台座(インターホ ン子機に付属しているもの)の取付や取り外しの作業 が発生します。これらの作業につきましては、イン ターホン子機の取扱説明書をご参照ください。

インターホン子機より、インターホン子機の台座を取 り外してください。(台座の取り外し方は、インターホ ン子機の取扱説明書をご参照下さい。)

インターホンカバーにネジ止めされている子機取付金 具を取り外し、金具に付属のネジ(M4ネジ)で、イン ターホン子機の台座を固定してください。【図1】

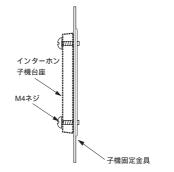
インターホン子機の取扱説明書に従って、インターホ ン信号線を子機に接続してください。このとき必要に 応じて、信号線を台座の中を通しておいてください。

インターホン子機本体の取扱説明書に従い、子機取付 台座に子機を取り付けてください。

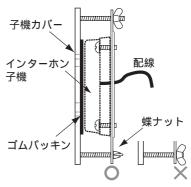
取付金具をインターホンカバーの埋込ボルトに合わせ 蝶ナットを締めてください。なお、蝶ナットのつまみ は、図のように水平になるようにしてください。 (【図2】通常パッキン)

図3のような特殊なゴムパッキン(厚みが20mmくら いあるもの)の場合は、子機をゴムパッキンの中に先 に押し込んだ後、子機カバーにとりつけてください。 (【図3】特殊パッキンの場合)

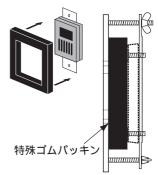
インターホン子機を取り付けたインターホンカバーを エンブレムポスト本体上部よりスライドさせて取り付 けます。表札プレートを入れて、インターホンカバー 及び天板をネジ止めしてください。



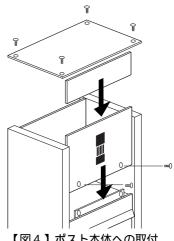
【図1】金具に子機台座を取付る



【図2】通常パッキン



【図3】特殊パッキンの場合



【図4】ポスト本体への取付

## 6 同梱部品の組込み

#### 電球の取り付け

安全のため、室内側の電源スイッチを切って作業して ください。

六角レンチを用意し、天板を止めている4本のネジを 外し、天板を取り外してください。

電球のソケットに、付属の蛍光灯型電球をねじ込んでください。

取付が終わったら、天板を取付けてください。

#### 表札板の取り付け

天板を止めている4本のネジを外し、天板を取り外し てください。

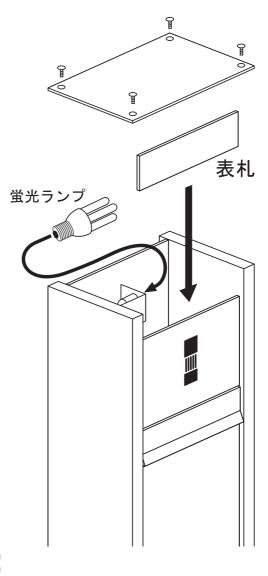
表札板を、ポスト正面手前側のミゾに差し込んでくだ さい。

天板をもとの位置に合わせ、4本の止めネジで固定してください。

↓ 止めネジを外す際、シリコンワッシャーを無くさないよ↓ うに注意してください。このシリコンワッシャーは雨水↓ の浸入を防ぐための部品です。

・止めネジを強く締め付け過ぎないでください。

建売などの場合でご入居者のお名前が未定の場合などに↓は、名前入りの表札は同梱されていません。



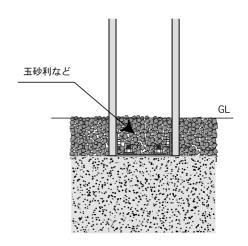
## 7 基礎の埋め戻し

以上で施工は完了しました。照明の点灯、各部に不具合がないかなどの施工確認を行ってください。

必要に応じて、本体に巻き付けたままの保護シートを 剥がし、傷の有無などを確認してください。

すべての確認が終わったら、基礎から GL までの穴を 適宜埋め戻してください。

このとき、右図のように玉砂利など、掘削の容易な方法で埋め戻すことにより、万一の場合のポストの移動が可能になります。また、将来ポストを廃棄する際にもポストを容易に基礎コンクリートと分離することができ、処分が容易となります。環境保護などの観点から、できるだけ、埋め戻しの際にはコンクリートで固めないようにお願いします。



# お願い 埋め戻しの際には、できるだけコンクリートで固めず、玉砂利などを利用してください。

# エンブレムポストTYPES2/SW 取扱説明書

## 安全上のご注意

ランプの交換やお手入れの際は、電源を切ってください。感 電の恐れがあります。

点灯中や消灯直後のランプや器具は高温になっていますので、 手をふれないでください。火傷の原因になります。

器具の改造、部品の変更は行わないでください。また、ラン プは「適合ランプ」の項の指定型番の物をご使用ください。

煙・臭いなどの異常を感じたら、すぐに電源を切ってくださ い。感電・火災の原因になります。工事店、お買い上げの販 売店、または弊社にご相談ください。

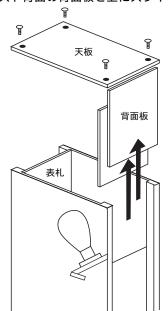
電気丁事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資 格者がおこなってください。一般の方の工事は法律で禁止さ れています。

ダイヤル錠にぶら下がらないでください。ダイヤル錠や取出 ロスライド扉を破損する恐れがあります。

#### ■取付け・取扱い方法

#### 1.ランプの取付け・交換

天板の4つのネジを外して、天板を外してください。 ポスト背面の背面板を上にスライドさせて外してください。



出荷時、電球は箱に 入った状態で本体内 部にテープで貼り付 けられています。

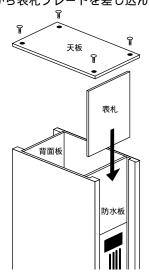
ポスト内部にソケットがありますので、ランプをねじ込んで ください。

組立時には、背面板のつや消し処理してある面が外側を向く ことに注意してください。

再び天板を取り付けるとき、必要以上に強くネジを締め付け ないでください。

#### 2. 表札部の取付け・交換

上記1の要領で天板を外してください。 ポスト上面から表札プレートを差し込んでください。



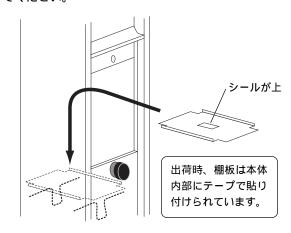
表札プレートの内側にあるアクリル板は防水のためのもので すので、表札プレートを付けた後も絶対に取り外さないでく ださい。

再び天板を取り付けるとき、必要以上に強くネジを締め付け ないでください。

#### 3. 棚板の取付け

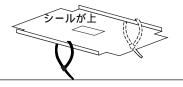
電気配線が完了したあと、ポスト背面の郵便物取り出し口を あけて、棚板を取り付けてください。電気配線の施工方法に ついては別紙の「施工要領書」をご参照下さい。

棚板位置決め用のピンの上に棚板をのせてください。棚板の シールに記載された注意に従って、裏表を間違わないように 設置してください。



#### 4.棚板の取り外し

万一棚板を取り外す必要がある場合には、棚板の端に付けら れているタイラップの輪を引き上げてください。



#### 5 . 郵便物取り出し口の開閉

ポスト背面の郵便物取り出し口は上下スライド式で開閉する ようになっています。ダイヤル錠の部分を持って上下に開閉 してください。

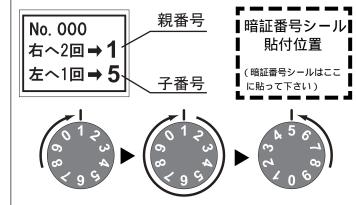


取り出し口を開くときには、必ず一番下まで手を添えて動か してください。途中で手を離すと、取り出し口下のクッショ ン材を傷めることがあります。

#### 6.解錠の方法

暗証番号シールの番号を見て、下記のようにダイヤルを回し てください。

- (1)ダイヤルを指定された方向に回して親番号に合わせます。
- (2)同じ方向にもう1回転させて親番号に合わせます。
- (3)逆方向に回して子番号に合わせます。



右回しで「1」に合わせ、もう1回転右に回して「1」に合 わせます。次に左回しで「5」に合わせます。

ダイヤル錠ナンバー



・ダイヤル錠には個別の番号がついて います。もし、暗証番号を紛失した場 合には、ダイヤル錠ナンバーを確認 して、ご購入いただきました建設会 社、工務店にお問い合せください。

ダイヤル錠ナンバーのシールは郵便 物取り出し口上部の板の裏側に貼り 付けています。郵便物投入口側から 奥を覗いてください。

#### 7. 施錠の方法

スライド扉を閉じた状態で。ダイヤル部分を押し込み、左右 どちらかに1回転以上回します。

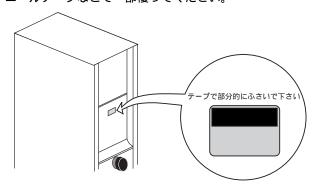
注 意 !!

施錠時、1回以上回転させないと。子番号を合 わせただけで開く場合があります。

#### 8.明暗センサー(オプション)の調整

明暗センサー付きの場合、背面のアルミ部分に25mmX15mm の四角い穴があいています。この部分が明暗センサーの受光 部になります。

街灯などの光が明暗センサー受光部に当たると、周囲が暗く なっても蛍光ランプが点灯しないことがあります。そのよう な場合には明暗センサー受光窓を光を透過しないシールやビ ニールテープなどで一部覆ってください。



#### 9.防犯機能(オプション)の調整

別紙の防犯機能オプション取扱説明書をご覧ください。

## ▋適合ランプ

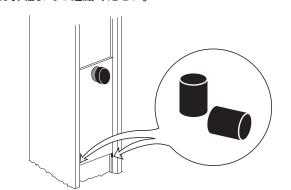
電球型蛍光ランプ 60 ワット形電球タイプ E26 口金

EFA15ED 3波長昼白色 EFA15EL 3波長電球色

蛍光ランプの取扱については、ランプに付属の説明をご参照ください。

## ▋消耗品

背面郵便物取り出し口下部の、ゴム製クッション材は消耗品 です。ひびがはいったり、つぶれたりした場合は、販売店ま たは弊社までご連絡ください。



## エンブレムポスト TYPE S2/SW オプション仕様部 施工説明書

適用 S-02

#### はじめに

この説明書は、エンブレムポスト TYPE S のオプション仕様部について、個々の施 工要領を述べたものです。まず最初に、基本となる標準仕様の施工方法を確認の上、 本施工説明書をお読み下さい。

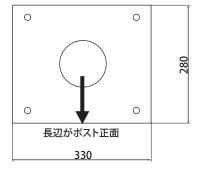
•「標準仕様部 施工説明書」

•「標準仕様部 施工説明書」

## 施エキットによる本体の設置方法(オプション)

あらかじめ、「標準仕様部 施工説明書」に従って本体に同梱の L アングルをしっ かりと固定して下さい。次に、下記の手順に従って施工します。

- 1) 下記の寸法を参考に、配筋を行った上でコンクリート基礎を打設して下さい。
- 2) 打設の際に、施工キットに付属のアンカーボルトとともに PF 管を埋め込んで 下さい。ボルトは二組を図bのように交差させて下さい。
- 3) ボルトの位置決めのために付属のテンプレートを使用します。コンクリートが 硬化するまで付属のナットとワッシャでテンプレートを仮止めし、硬化したら 取り外して下さい。テンプレートは長辺側がポストの正面です。
- 4) コンクリートが硬化した後、レベルや垂直を確認しながら、付属のボルトとナッ トとワッシャでポスト本体を固定して下さい。



標準埋込み

【お願い

下図の点線内は、ポストのリサイクルとリユース が可能なように、コンクリを打設しないで下さい。 施工補助用テンプレート板 深さ150mm (管は付属していません。 コンクリート基礎 コンクリート基礎 `アンカーボルト 図b

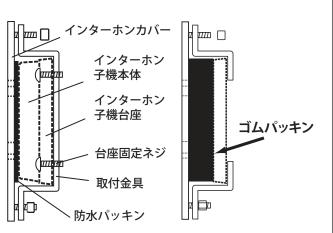
(2019/04/05)

### インターホンカバーの取り付け(オプション)

インターホン子機は、ポストの内側に下記の手順で取り付けて下

- 1) 取付金具に付属のネジ(M4 ビス)で子機台座と取付金具を 固定します。
- 2) 子機台座に子機本体をはめ込みます。特殊ゴムパッキン付き の場合は、右図の位置にパッキンを取り付け、カバーと接す る側の両面テープを剥がして下さい。
- 3) 取付金具をカバーの埋め込みボルトに合わせナットで締め付 けて下さい。

オプション品の取り付けや配線工事については、それぞれの説明 書をお読み下さい。



特殊ゴムパッキン付きの場合

## 注意!

★ナットは強く締め付け過ぎないで下さい。

## 明暗センサーの施工方法(オプション)

- ・オプション仕様による特別な配線工事などは不要です。標準仕様の施工説明書 に従って配線工事を行って下さい。
- •「標準仕様部 施工説明書」
- ・「取扱い説明書」

## エンブレムポスト typeS/S2/SW 標準仕様部 施工説明書

適用 S-02

### はじめに

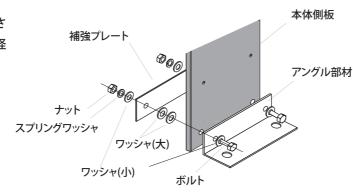
この説明書は、エンブレムポスト type S の標準仕様について、基本となる施工要領を述べたものです。これ以外の右オプション品の施工については、この説明書をよくお読みの上、右の各施工説明書をお読み下さい。

- 施工キットオプション
- ・インターホンカバーオプション
- ・明暗センサーオプション
- ・防犯オプション

・「オプション仕様部 施工説明書」

#### アングル部材の取り付け

図に従って、左右のアングル部材をしっかりと固定してください。補強プレートと本体側版の間のワッシャは大径の方(外径 26mm)を使用して下さい。



## 本体の設置方法

標準的な埋め込み深さはポストの下端から地面まで 150mm です。

■ TYPE S2 の場合

標準より深く埋め込む場合は、380mmを上限として下さい。これ以上埋め込むと郵便物取り出し口が開かなくなります。

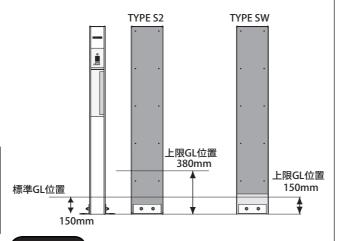
また、標準 GL 位置よりも深く埋め込む場合は、インターホンカ メラに死角ができないかなどを十分注意して下さい。

#### ■ TYPE SW の場合 重要

<u>合成木材のサイドパネルが土中に埋まらないようにしてください。</u> 湿気により合成木材が劣化します。

施工キットを使ったメーカー推奨の本体の設置方法については、下記の説明書をご参照下さい。

・「オプション仕様部 施工説明書」



## お願い

できるだけ、メーカー推奨の設置方法(施 エキット使用)で施工して下さい。

## 設置する場所に、

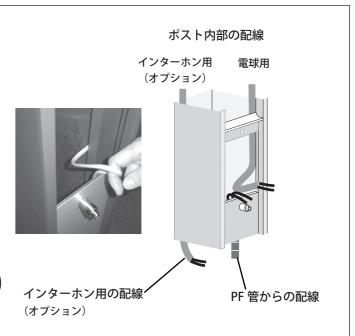
設置する場所に、あらかじめ専用の PF 管を埋め込み、配線が 1m ほど取りだせるようにしておいて下さい。

電気工事について

- 1) 背面の郵便取り出し口を開けて配線コードを引き出します。
- 2) 電球用の配線は、背面から見て手前右のアルミ部材のミゾ に埋め込まれています(写真参照)。これを引き出し、PF 管からの配線と結線して下さい。
- 3) 結線後、本体側配線コードをもとどおり、ミゾに押し込んで下さい。露出したままでは棚板がうまく収まらないことがあります。

オプション品の取り付けや配線工事については、それぞれの説明書をお読み下さい。

▶ (・「オプション仕様部 施工説明書」



## 棚板の取り付け

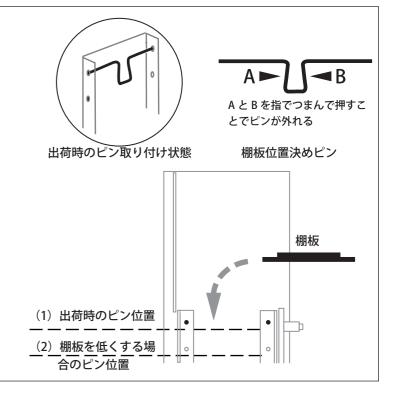
棚板位置決め用のピンに棚板を乗せます。出荷時には右下図の(1)の位置にピンをセットしていますので、標準的にはこの状態で棚板を設置して下さい。

棚板を低くしたいときは、右図に示す位置決めピンの突起 部を指先でつまんでピンを抜き、(2)の位置にある穴にピ ンを差し換えた上で棚板を設置して下さい。

なお、<u>棚板には裏表の区別があります。必ず、棚板に張り付けてあるシールで表面を確認して、表面を上にして設置</u>して下さい。

## 注意!

- ★棚板の裏表に注意して下さい。
- ★棚位置を変更するときは、ピンを落と さないように十分気をつけて下さい。



(2013/02/12)

# 郵便投入口プレート用バネ交換手順

(エンブレムポストTYPE S/S2/SW)

この度は部品の破損で大変ご迷惑をおかけしております。交換部品をお送りしますので、大変お手数ですが、下記の手順で交換いだだきますようお願いいたします。

## ■同梱部品の確認

下記の部品が入っていることをご確認ください。

・交換用バネ × 1
・交換用L型固定金具 × 1
・平ワッシャ × 2
・スプリングワッシャ × 2
・ネジ × 2

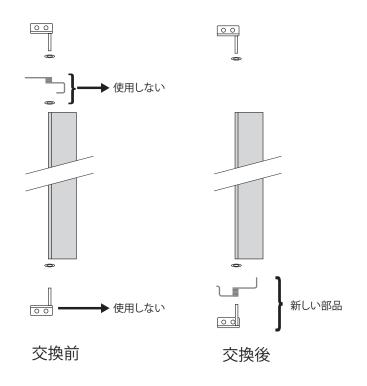


平ワッシャ、スプリングワッシャ、ネジは予備を含めて各2個入っています。

## ■バネ交換作業の内容

現行商品の仕様が変更されたため、今回お送りしたバネの形状は、お使いいただいているものとは異なります。また、バネを取り付ける位置も、交換前は郵便投入口プレートの上に付いていますが、交換部品は投入口プレートの下に付けるように変わります。

【注意】交換前のワッシャーの位置、数などが右の図や、 以下の写真等と異なる場合がありますが、製品改良など の仕様変更によるものですので、ご容赦願います。いず れの場合でも、新しい部品に交換後は正常にご利用い ただけます。



## 【1】壊れたバネを取り外す

下側のL型固定金具を取り外し、郵便投入口プレートとその上の 破損したバネ、平ワッシャを取り外します。

1)L型固定金具を固定している2本のネジをはずして、L型固定金具を取り外してください。

この時、ドライバーを奥までしっかり差し込み空回りをしないようお気をつけください。ネジの頭が潰れる恐れがあります。

ネジが固着して緩みにくい場合は、CRC556等の潤滑材を吹きつけ、しばらく時間をおいてよく浸透させてから、ネジを緩めてください。

それでも固い場合などは無理をせず、お手数ですが弊社までお問い合わせください。



2)L型固定金具を外すと、郵便投入口プレートを下にずり下げて取り外すことができます。このとき、上側のL型固定金具のピンを曲げないように、郵便投入口プレートをまっすぐ下に引き抜いてください。



3)上側のL型固定金具に平ワッシャやバネがのこっていたら、それを取り外してください。郵便投入口プレートの上に平ワッシャを1枚のみのせて、郵便投入口プレートを取り付けてください。一番上まで差し込んだところでガムテープなどで郵便投入口プレートを仮止めしてください。

平ワッシャを 1 枚のみ取り付けて、 投入口プレートを戻す。



## 【2】交換用バネ部品を組み立てる

交換用バネのAの部分をBの部分に引っ掛けて、下の中央の写真のような形状にしてください。 その形状のまま、交換用L型固定金具の長いピンに交換用バネ〜平ワッシャの順に差し込んで ください。



## 【3】交換用バネの取り付け

上で組み立てた交換用L型固定金具~交換用バネ~平ワッシャのセットを、郵便投入口プレートと下から、差し込んでください。その後、交換用L型固定金具背面にある短いピンCをポスト本体のサイドパネルにあるネジ穴Dに差し込んでください。

交換部品に同梱のネジにスプリングワッシャをつけて、交換用L型固定金具をネジ止めしてください。





## 【4】バネの開放

組立て前にひっかけていたバネをもとの状態にもどしてください。バネの力で郵便投入口プレートがフロントパネルに押し付けられるようになったら、作業は完了です。

